

## 真田地域協議会 第 3 分科会 協議報告書 (案)

1 件 名	<p>安心して暮らせる地域づくりの推進 「真田地域の防災について」</p>
2 意見内容	<p>平成 22 年 8 月 2 日豪雨災害、平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災の被災状況から、真田地域まちづくり方針の一つである「安心して暮らせる地域づくりの推進・災害に強いまちづくり」を真田地域の特性に鑑み進めていく必要があります。</p> <p>いつ起こるかわからない災害による被害を最小限にとどめるため、「真田地域の防災について」、自主防災の主体となる自治会に取組んでいただきたい項目をまとめ、以下のとおり提言をいたします。</p> <p>(1) 各自治会で、実動できる自主防災組織の構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年組織の役員が変わると自主防災組織は災害時に機能しません。役員は、できる限り 2 年以上の任期とすることを推進します。災害が起こる前に自分たちで対応できる動ける自主防災組織にしましょう。</li> <li>・災害発生時には情報収集や伝達が重要です。自主防災組織が地域からの災害情報を収集し消防署へ通報したり、土砂災害警戒情報などを組織内、及び地域内へ連絡したりする体制を整備することを推進します。自主防災組織を運用すれば、災害発生時いざというときに役に立ちます。</li> <li>・災害が起きたときに自主防災組織でどのように対処するのか、各地域で消防署・消防団との合同防災訓練を実施することを推進します。</li> <li>・「自主防災組織・災害時対応マニュアル」活用しましょう。</li> </ul> <p>(2) 各自治会における、地域にあった防災体制の構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地震が発生すると決めておいた避難場所が倒壊することも考えられます。災害発生時に、どこへ避難すれば良いのか、避難場所はそこで良いのか、事前に避難できる場所を確認し地域内へ周知しておくことを推進します。</li> <li>・自分たちの地域では、どのような災害が起こりうるのか、地域内の危険か所を事前に見回り、大雨が降った場合や地震発生時等の対応を決めておくことを推進します。</li> </ul> <p>(3) 各自治会で、災害時要援護者の災害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ起こるかわからない災害発生に備え、要援護者(高齢者、障害者等)に対する支援体制をつくり、声かけ等の見守り活動を日常的に行うことが必要です。</li> <li>・災害発生時に避難誘導や安否確認をするため「災害時要援護者登録制度(住民支えあいマップ)」を全地域に広げることを推進します。</li> </ul>